

取引所 F X



くりっく365の説明① — FX取引とは —



2018年2月

東京金融取引所

本セミナー資料は、株式会社東京金融取引所(金融取)のセミナーでの使用を目的としており、金融取の許可なく転載、複製、改編、再配布、全部または一部の引用等を行うことはできません。また、金融取は本セミナー資料に記載しているデータの正確性に関し、なんら保証するものではなく、当該データに関連するいかなる損害についても賠償する責任を負いません。

FX(外国為替証拠金取引)とは

ドルやユーロなどの外国通貨(為替)を交換・売買し、その売買差益や、金利収益(=スワップポイント)を目的とした金融商品。



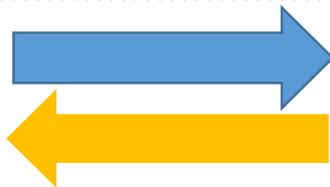
米ドルの価値が「安い」時に買って、「高い」時に売るとその差額が売買益になります。



0.25%

日本の金利

米ドルを100円で「買う」
(日本円を米ドルに両替する)
金利差 1.75%を受け取る



2.0%

アメリカの金利

米ドルを120円で「売る」
(米ドルを日本円に両替する)
金利差1.75%を支払う



スワップポイントとは通貨間の金利差相当額です。

高金利通貨(米ドル/円)の買いポジションを持つ



受取

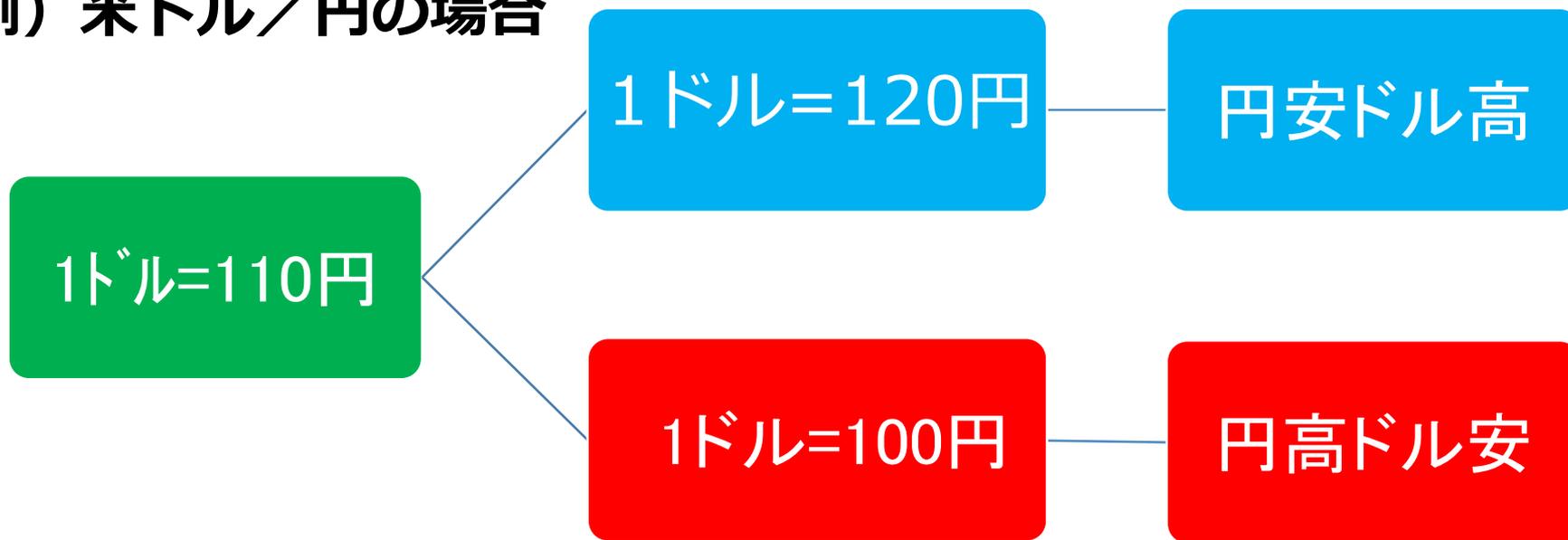
高金利通貨(米ドル/円)の売りポジションを持つ



支払

円高と円安

(例) 米ドル／円の場合



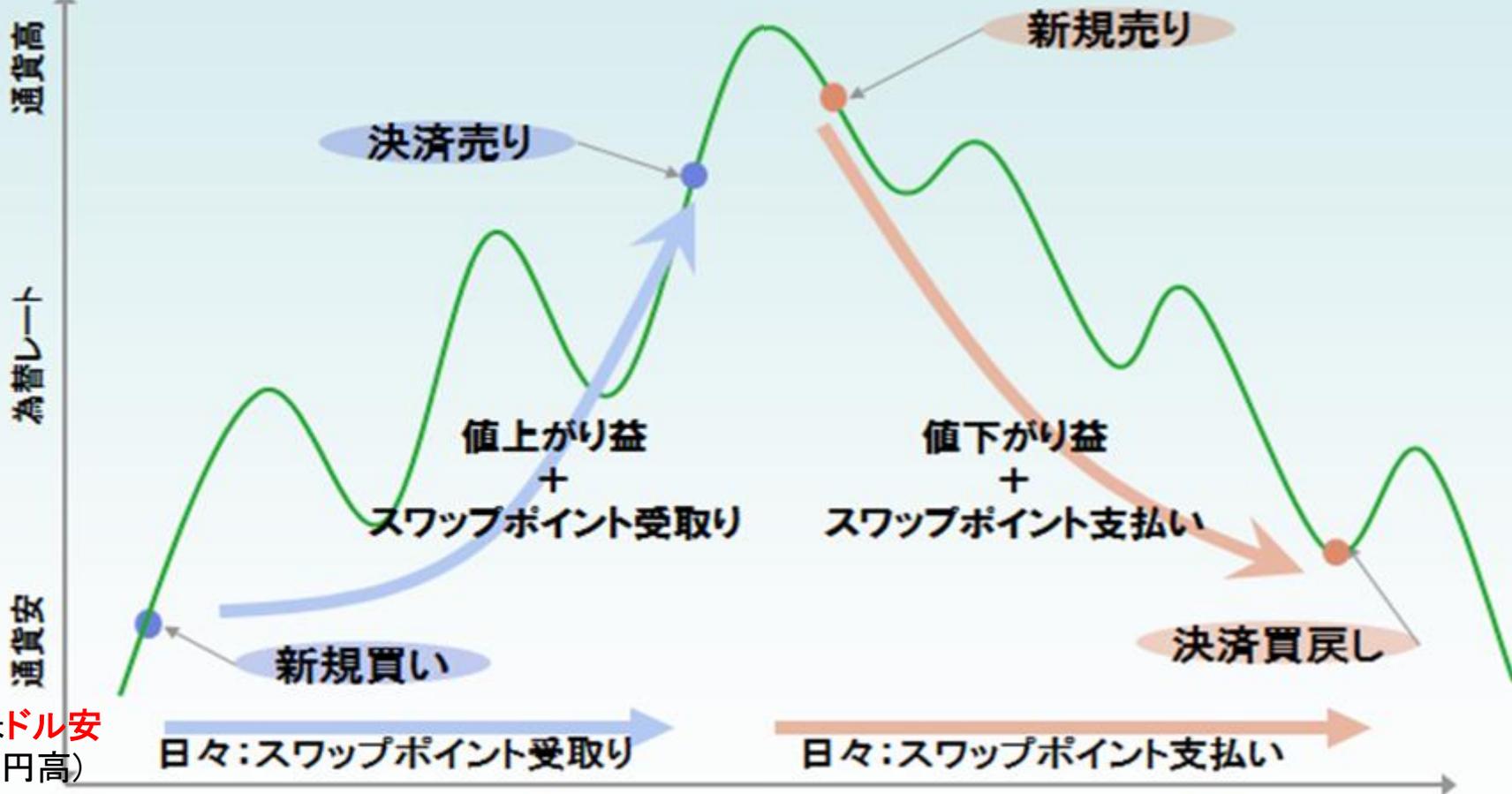
※米ドル／円の価格に影響する主な要因

- 経済力
- 金利
- 通貨供給量
- 政治（国際情勢） 等

FXの取引イメージ

米ドル高(円安)
(1ドル=120円)

※米ドル/円 を想定したケース



米ドル安
(円高)

日々:スワップポイント受取り

日々:スワップポイント支払い

(1ドル=100円) ※ 米ドル/円の買いポジションのスワップポイントが、受け取りの場合。

※ 1円の値動きに対して10,000円の損益が発生します。

レバレッジ取引とは

少額の投資資金により多額の外貨を売買することをレバレッジ取引という。

取引をするための担保となる投資資金を「**証拠金**」といい、

想定元本(為替レート×通貨単位)の4% (※)以上の証拠金が必要。

これにより、レバレッジ(てこ)を効かせた取引をすることができる。

現在の最大のレバレッジは、**想定元本÷必要証拠金=25倍**。

CHECK!



下記の例では、4万円の現金を証拠金として金融機関等に預け入れることにより、100万円の取引ができることとなります。

具体例 ▶ 米ドル／円の取引単位は1万通貨単位、1ドル100円で米ドルを1枚購入する場合

想定元本 $100\text{円} \times 10,000\text{通貨単位} \times 1\text{枚} = 1,000,000\text{円}$

必要証拠金 $1,000,000\text{円} \times 4\% = 40,000\text{円}$

レバレッジ倍率 $1,000,000\text{円} \div 40,000\text{円} = 25\text{倍}$

※個人投資家に適用される証拠金率は想定元本の4%を下限としていますが、法人投資家は取扱業者が採用する証拠金基準額の算出方法により、必要証拠金が想定元本の4%を下回る場合があります。

取引を始める際に必要となる資金[証拠金]

(米ドル/円 100円 1万通貨単位 と仮定)

取引金額

1,000,000円

株式
現物取引

1,000,000円 (=取引金額の総額)

株式
信用取引

330,000円程度
(=取引金額の30%以上)

FX取引
[証拠金]

FXでは、預託した証拠金の最大2.5倍までの金額の取引が可能です。

👉 はじめのうちは、あらかじめ証拠金に余裕を持ってお取引ください。

「くりっく365」取引のリスク

「くりっく365」には、主に以下のリスクが存在します。投資を行う際にはこれらのリスク及び「くりっく365」取扱会社より交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分理解した上で、ご自身の判断でお取引を行うようにしてください。なお、以下に掲げるリスクは、「くりっく365」での取引に生じる全てのリスクを示すものではありません。

【価格変動リスク】

取引対象である通貨の価格の変動により損失が生じることがあります。さらに、取引金額がその取引について顧客が預託すべき証拠金の額に比して大きい場合、相場の状況によっては差し入れた証拠金以上の損失が発生する可能性があります。

【コンバージョンリスク】

クロスカレンシー取引においては、決済が当該通貨ではなく、円貨でなされることから、決済時に当該通貨の為替リスクの他に円との為替リスクがあります（コンバージョンリスク）。

【金利変動リスク】

取引対象である通貨の金利が変動すること等により、保有するポジションのスワップポイントの受取額が減少、または支払額が増加する可能性があります。ポジションを構成する2国間の金利水準が逆転した場合等には、それまでスワップポイントを受取っていたポジションで支払いが発生する可能性もあります。また、一部の通貨においては、外国為替市場における当該通貨の需給関係等の影響を受けて、金利変動によらずに、スワップポイントの増減や支払いの逆転が生じたり、場合によっては、金利の高い方の通貨の買いポジションでスワップポイントの支払いが生じる可能性があります。

【流動性リスク】

「くりっく365」では、マーケットメイカーが買呼び値及び売呼び値を提示し、それに対して投資家がヒットをして取引が成立する方式を取っています。そのため、状況（天変地異、戦争、政変あるいは為替相場の激変等）によって、マーケットメイカーによる買呼び値や売呼び値の安定的、連続的な提示が不可能または困難となることがあり、その結果、想定する価格で取引ができないなど、投資家にとって不測の損失が生じる可能性があります。また、一部の通貨において母国市場等の休業の場合には臨時に休場することがあります。更に、当該国の為替政策・規制による他通貨との交換停止や外国為替市場の閉鎖の措置がなされるなどの特殊な状況が生じた場合には、特定の通貨ペアの取引が不能となる可能性もあります。なお、平常時においても流動性の低い通貨の取引を行う場合には、希望する価格での取引ができないなどの不利益を被る可能性があります。

【信用リスク】

「くりっく365」においては、投資家の取引を受託する「くりっく365」取扱会社に対し金融取が取引の相手方となる「清算制度」を導入しており、投資家の証拠金は、全額金融取が分別管理しているため、原則として全て保全されます。しかし、「くりっく365」取扱会社の信用状況の変化等により支払いが滞ったり、取扱会社が破綻した場合には、返還手続きが完了するまでの間に時間がかかったり、その他の不測の損失を被る可能性があります。

【システム障害等リスク】

金融取及び「くりっく365」取扱会社のシステム、または投資家、取扱会社、金融取の間を結ぶ通信回線等に障害が発生した場合等は、相場情報等の配信、注文発注・執行等が遅延したり、不可能になることがあり、その結果、不測の損失を被る可能性があります。

【税制・法律等の変更リスク】

税制・法律またはその解釈等が将来変更され、実質的に不利益な影響を受ける可能性があります。

以上

取引所 F X

